

令和5年度 第2回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和5年12月6日(水) 午前10時00分 開会
午前11時50分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者
・町長 佐野 和広 ・教育長 入月 一巳 ・教育長職務代理者 望月 正宏
・教育委員 山本 純司 ・教育委員 望月 聡美 ・教育委員 渡邊 正志
- 4 事務局等の出席者
町長部局 秘書政策監 滝 基成 総務課長 渡辺 雄治
教育委員会事務局 学校教育課長 若林 将基 生涯学習課長 遠藤 賢
- 5 協議事項
(1) 南部地区小学校の適正配置について
(2) 第2次南部町教育振興基本計画について
(3) 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
(4) その他
- 6 議事経過の概要
次のとおり

1 開 会 (望月正宏教育長職務代理者)

皆さん、おはようございます。本日は総合教育会議に出席いただきありがとうございます。昨日、教育4者による教育条件整備の要望書が提出されました。本町は他町に比べ人的条件が恵まれています。本日の議題には、物的条件整備に関係する適正配置に関する事項、南部町教育の指針である教育振興基本計画に関する事項、学力学習状況調査の事項がありますので忌憚ない意見をお願いします。それでは、本日は宜しくお願いします。

2 町長あいさつ

おはようございます。昨日は教育4者の要望事項の提出に出席いただきありがとうございます。これまで出された要望については出来る限り応えてきましたが、すべてに応えられるわけではありません。本町では地方交付税が大きな財源ですが、財政規模によって交付されるもので限りがありますので、要望のすべてに応えることは出来ないのが現状です。わが町は、歴史と文化と教育の町であり、そのことを考え方の基本に据えて充実を図っていきませんが、他町の財政状況が報道で取り上げられているとおり、状況を的確に把握するなかで、推進していきます。学校統廃合などもそのひとつであります。本日は、より良い教育を行うために忌憚のないご意見をお願いします。

3 教育長あいさつ

本日は、年末のお忙しいなかをご出席いただきありがとうございます。この会議のいいところは、皆さまがそれぞれ思いを述べてもらってきたところでもありますので、忌憚のないご

意見ををお願いします。大事な議事が3件ありますので宜しくお願いします。現在、学校の来年度の予算査定を行っていますが、学校の動きは特別のものではなくて、大きな教育行政のなかで動いていることを感じます。ぜひ、この会議を通して一流の田舎まちを目指している本町の教育行政をますます推進するために充実した時間になればいいと思っています。教育行政を通じて南部町を盛り上げたいと思っています。では、本日も宜しくお願いします。

4 議事

(1) 南部地区小学校の適正配置について

【学校教育課長が、配布した「南部地区小学校の適正配置に係る説明会及びアンケート結果に関する資料」に基づき説明しました。睦合小と栄小の適正配置については、アンケート結果、11月15日開催の報告会及び11月30日開催の議会全員協議会の状況をもって、令和8年4月1日の統合に係る合意形成がなされたと判断したことを報告しました。町民の方々へのお知らせは、町長のFM告知放送による年頭のあいさつと、広報なんぶで行うことを報告しました。適正配置に関するQ&Aについては、ホームページにアップし統合が終了するまで随時更新をしていくことを報告しました。】

(町長) FM告知放送の録音は既に終了しました。そのなかでは、令和8年4月1日に統合すること、また今までいただいたご意見は真摯に受け止め反映する旨を話しました。

(山本委員) 地域の人とも話しましたが、適正配置の説明過程で、動画配信など資料公開に努力していることなど、よい手順を進めてきたと思います。さらに、Q&Aを公開することになればより丁寧に行なうこととなります。

(渡邊委員) 事務局の丁寧な説明が良く、アンケート結果において肯定的意見は95%を超えています。方向性に賛同していただき、計画どおり進んでいる印象があります。これからは、校舎改修などありますが、無駄を省いて合理的に進めていただきたいと思います。空き校舎の利用についても、防災等多目的の利用できるようになれば、地域の方の納得感も起きるのではないかと思います。

(望月(聡)委員) 睦合小の児童は、友達が増えるなど統合はいいことであるが、栄小の児童はどのように感じているのかと思う。これからは、当事者の児童や保護者の心配をどう取り除いていくかが必要だと思います。そのために、N授業のような合同授業なども実施してほしいです。

(事務局) 栄小保護者のなかでは、統合の総論にはある程度ご理解をいただいていると思います。今後は、新小学校統合準備委員会を設立し、委員には保護者代表に入ってもらいます。そのなかでいただいた意見を具体的に反映していきたいと思います。統合前の合同授業も必要であると思います。過日、1年生が合同で自動車くらの学習を行いました。大きな成果があったと思います。統合がスムーズにできるように、また児童、保護者の不安を払拭するように努めます。

(山本委員) 栄小児童に話を聞くと、睦合小児童とはスポ少などで会う機会も多く、気にしていないようであります。大勢の活動に対してわくわく感を持って楽しみにしている様子であり、素直に受け止めているようです。

(町長) 統合に関して、複式学級の状況は避けたいという思いです。富河小・万沢小の統合時も

心配する声はたくさんあったが、統合後は肯定的な意見が多くあがっています。これらの声も、南部地区の統合にも生かしていきたいです。

(望月(正)委員) 町長が言われたように、統合後のアンケート結果からは、良かったという意見が明白である。今 N 授業を担当しているが、参加した児童のアンケートでも「楽しかった」や「来年も楽しみ」、「最初は緊張したが話していくうちに仲良くなった」などプラス思考の意見がほとんどであります。

(教育長) 富河、万沢の統合の際も、N 授業とは別に 2 校で合同授業を行いました。準備委員会の教育課程部会の意見で行いました。南部地区の小学校でも行なったらいいと思います。

(山本委員) 統合に向けて、いろいろな要望が出てくると思うが、どのように対応していくのか課題がでてくると思います。

(教育長) 難題が出てくる可能性もあるがその都度検討していきます。今後の教育委員会定例会でも毎回検討していきます。

(渡邊委員) 新小学校の準備委員会はいつ設立されるのでしょうか。

(事務局) 令和 6 年度になったら立ち上げて取り組んでいく予定です。

(渡邊委員) 準備委員会には教職員は含まれますか。教育課程編成や PTA などは教務主任が入る必要があると思います。

(事務局) 教育課程編成部会に教職員に入ってもらうことになります。

(町長) 校舎の改修も含めて、早め早めの対応が必要であります。

(事務局) 現在、どのような改修が必要なのか、施設の劣化調査を行っています。令和 6 年度は詳細設計、令和 7 年度に改修工事となります。改修内容については、まだわかりませんが、調査結果や富沢小改修を参考に進めていきたいと思えます。外構は、スクールバスの運行を念頭にロータリーや駐車場の整備を行う計画です。また、プールについてはアルカディアプールを使用し、現プールは解体することを前提に進めていく予定です。財源は、統合に係る改修補助金と過疎対策事業債を見込んでいます。

(町長) 施設の改修や新設は多大な費用が掛かります。施設の改修は、必要性をしっかりと精査してやってもらいたいと思う。ハード面も大切だが、ソフト面の充実が必要であります。

(山本委員) 基本は、現在の使い勝手が悪い所を改善していく方法がベターであると思えます。

(望月(正)委員) Q&A がホームページで公開されれば、一層理解も深まると思えます。新小学校のこと、などは、興味のあることなので広く広報してほしいです。

(町長) 校歌の作成についても、いろいろな検討をしていきたいです。

(2) 第 2 次南部町教育振興基本計画について

【教育長が、第 2 次南部町教育振興基本計画の改定案の資料を用いて、これまでの経過や改定内容について説明しました。策定については教育委員会で 8 月定例会から毎月検討してきました】

(望月(正)委員) P30 の大綱と教育振興基本計画の関係の記述は、他のページの記述と重複することもあるので必要ないと思えます。

(事務局) 今後検討します。

(山本委員) 町民の方にどう伝えていくか重要です。この計画をもとに関係者に対し、教育について語る会議があってもいいのではないのでしょうか。区長会や、女性団体連絡協議会、青少

年育成会議などの関係者が一堂に会す会議は出来ないものかと思います。

(望月(正)委員) 大勢の方に集まってもらうことは、負担や難しさもあります。

(山本委員) 広報での周知もいいが、ある程度の方が集まって、聞いてもらう機会があればこちらの方が広がっていき効果も大きいです。

(望月(正)委員) いずれ、よりよい方法を探っていくことが必要です。

(渡邊委員) 各団体の長が承知していることが必要です。学校では校長、教頭が把握し、学校の運営方針に生かしていく必要があると思います。

(教育長) 今後、周知方法は検討していきます。教育委員会では、毎年教育委員会方針を立てています。その方針には振興基本計画のエキスが入っています。学校運営協議会で方針について説明してもいいと思います。第3回総合教育会議で、再度協議していただきます。

(3) 令和5年度全国学力・学習状況調査について

【教育長が、教育委員会が作成した全国学力・学習状況調査の結果と各学校が作成し保護者の配布した資料に基づき説明しました。中学校の数学と英語で正答率が全国平均よりも低い結果となったことを報告しました。生活習慣や学習環境に関する調査状況について説明しました。】

(望月(正)委員) 結果よりも、この結果に基づきどうしていくかが重要です。そのなかで、中学校の英語の結果には課題があると思います。教科の課題に題する対策はよく書かれているが、自己肯定感や学校へ行くことが楽しいですか、などの基本的なことが低いことが気になります。これに対してどう取り組んでいくかあまり書かれていないので、この点について学校でどう考えているか、掘り下げていく必要があると感じます。

(町長) 自己肯定感は、山梨県は高いと聞いていたので驚いたが、掘り下げて分析したほうがいいのではないかと。

(山本委員) 自己肯定感の数値が低いですが、他の設問の回答が高く、ギャップがあります。例えば、褒め方などの違いにより、受け取る感覚も代わってくるのかもしれませんが。評価しているのに、自己肯定感があがらないのは、評価自体に問題があるのではないかと思います。

(望月(正)委員) 文字で書くよりも、言葉で聞くことで子どもたちは深く受け止めると聞いたことがあります。褒める原因とタイミングが重要だそうです。学校の先生方は承知していると思いますが。

(山本委員) 県の学力調査でも低い教科があったが、よく言われるのが小さい頃から家庭教育のなかで読み聞かせをしている子どもは読書が続いて、小中学校の時代は非常に読書力が増え、成績に比例します。小さい頃から、子どもの思いを聞いてあげる繰り返しが必要であると思います。過日、栄小3年生が校外学習にきたが、それぞれの児童が考え方をしっかりと話しました。また中学生には社会情勢を伝えることが重要です。社会に関心を持たせる教育が必要です。

(望月(聡)委員) 小学生の学校に行くのが楽しいですか、の設問の答えが低く、過去の学校訪問では感じるできなかった結果となって心配しています。睦合小学校の理科の教員が天体観測会を開催することや、理科だよりの発行など、子どもたちが好きになるきっかけを作ってくれていてありがたく思います。そういうことで、子どもたちの自ら学ぶ気持ちになると思います。

(渡邊委員) 英語に関しては、中学校の授業を参観した時に文法が授業の主になっていました。子どもの興味のあるものをもっと取り入れていった方がいいと思います。生活の一部として英語の必要性を認識させることで、英語に対する興味に変化してくるのではないかと思います。

(4) その他

特になし

5 閉 会 (山本委員)

お疲れ様でした。町長の話にありました、歴史と文化の町ですが、歴史と文化が繋がっていくということは、常に教育がベースにあるということですので、やはり南部の子どもたち、大人の生涯学習などそういうものの教育を広げていく、そして深めていくことが大事なのかなと思います。歴史と文化は継承していくものだと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。以上で南部町総合教育会議を終わります。お疲れ様でした。

以上